

宇美町の教育行政の推進は

答 教育復活に向け さまざまな教育施策を進める



飛賀 貴夫 議員

問 平成30年10月1日から就任された佐々木壮一朗新教育長は、今後宇美町の教育行政をどのように推進されるのか。

答 教育長 今日、教育界では多様な問題、課題が提起され、当町においてもその重要性が高まっており、歴史的にも教育に熱心な土地柄と言える宇美町の教育復活に向け、さまざまな教育施策を進める。

児童生徒にとって積極的、主体的な学びを育成するための取組とふるさと宇美に誇りを持ち、宇美の未来を築いていく人材の育成が重要になる。

- 学校教育では五つの視点で取り組む。
- ① 学力向上を含めた生きる力を育む教育活動の推進。
 - ② 安全・安心な取組の推進。
 - ③ 特別支援教育の充実。
 - ④ 食育に関する取組の

推進。

⑤ 地域コミュニティの中で学校づくり。

社会教育では三つの視点で取り組む。

- ① 生涯にわたって学び続ける環境づくり。
- ② スポーツに親しむ機会への提供。
- ③ 子どもの成長を見守る地域活動の支援。

問 学力向上の目標値と達成時期は。

また、生きる力を育むとは、どのような施策か。

答 教育長 学力調査で全国や福岡県の平均ラインを目指し、取り組む。

小学校では、国語A・B、算数A・Bの4問題区分それぞれ平均正答率4ポイントアップ。中学校では、国語A・B、数学A・Bの4問題区分それぞれ平均正答率3ポイントアップ。おおむね今後3年間における目標指標を各

学校で実情に合わせて設定し、学力向上の取組を推進。

生きる力を育むとは、主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業をとおして、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、児童生徒を支援していくこと。

宇美駅とその周辺の整備は

問 JR九州の取組を活用し、宇美駅舎、事務室を安価で借り受け、観光事業の推進につなげては。

答 まちづくり課長 宇美町中心市街地にぎわいづくりを進める中で、JR九州と情報交換を密にし、研究・検証し、駅の利

活用、駅周辺地域の整備等を協議・検討する。

問 宇美駅前広場に老朽化した宇美交番の移転・建替誘致は。

答 町長 宇美町の玄関口として非常に重要な機能や役割を持つエリアで、防犯対策や安心安全の確保、にぎわいの創出という観点からも大きな課題と認識している。

財政面、にぎわいづくりプラン、公共施設再配置計画を踏まえてしっかりと協議し、前向きに検討する。



J R宇美駅前広場



南里 正秀 議員

宇美八幡宮所蔵文化財の公開できる場を

答 関係者と協議、調査研究したい



聖母宮内の御神像と随神王像

問 平成30年5月5日、25年に一度しか公開されない宇美八幡宮聖母宮式年大祭が盛大に開催された。聖母宮御神像は、福岡県有形民俗文化財に指定されているが、その価値は、国の重要文化財や国宝に匹敵するとの専門家の意見もある。町として、格上げの支援をしてはどうか。

答 社会教育課長 国の文化財指定に向け、国、県の調査に積極的に協力、情報の提供に努め、働きかけを行っていききたい。

問 聖母宮の両側に安置されている一対の随神王像は現在無指定。県の文化財指定を受ける前段として、町の指定が必要だが、取り組む考えはないか。

答 課長 聖母宮の建屋とともに町の文化財に指定するため、宇美町文化財専門委員会の意見を聴きながら事務を進めている。

問 宇美八幡宮の宝物殿は現在、一般開放されていない。

答 国指定重要文化財が19点もあるのに、現在の施設では維持管理できないとのこと。文化庁の許可が下りず、九州歴史資料館の収蔵庫に眠っている。多くの人が鑑賞できるように、宇美町歴史民俗資料館を一部改修し、公開できるように検討できないか。



九州歴史資料館に眠る宇美町のお宝

答 教育長 現在の施設では、環境が不十分。宇美八幡宮や関係者と協議、検討をしていきたい。

問 総合計画後期実践計画の中で歴史民俗資料館を拠点にふれあいの場とする記述があるが、町長の見解を。

答 町長 財政面を含め、必要な条件や環境整備など調査研究を進めていきたい。

住居表示未整備地区の早期解消を

問 未整備地区の解消に向けた今後の取組は。

答 住民課長 現在、約88%実施済み。未整備は主に井野と平成地区。井野地区は、地元の見解がまとまれば実施可能。

問 平成地区は都市計画道路の確定後に実施する方法と、一部道路が確定している部分を先行して実施する方法が考えられる。

答 課長 住居表示の原則はあるが、住居表示審議会で議論してもらい、柔軟な対応も必要と考えている。

問 高速道路で分断された地域を同じ町名にできないか。